

2022年1月22日
エイコーエナジオ株式会社

株式会社エイコー桐生は本社工場に、366枚の太陽光パネルを工場屋根に設置し、発電容量150kWとなる自家消費型の太陽光設備を導入、2021年12月に稼働致しました。年間の発電量は、162,193kWhを予想し、CO2排出量を年間48t削減することが可能となりました。

また、BCP（事業継続計画）対策として、10kWhの蓄電池も導入しており、災害時などの緊急事態に遭遇した場合でも、一部の電力を賄えるようにしております。

今回の設備導入は、環境省の補助金である「ストレージパリティの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業」に採択されて、実現したものです。

再生可能エネルギーの使用によって環境にやさしい製品の製造を進めるとともに、近年求められているSDGsやESG経営に今後も積極的に取り組み、企業価値を高めていきます。

—導入設備の概要—

太陽光パネル：410W×366枚 合計 150.06kW

パワーコンディショナー：50W×2台、4kW×1台 合計 104kW

蓄電池：10kWh×1台

—プロジェクト体制—

施主

株式会社エイコー桐生

本社：滋賀県草津市 スクリーン印刷と樹脂加工製品の販売、LED照明機器の製造販売

HP：<http://www.eicohkiryu.com/>

プロジェクト支援（全体統括・電力協議・補助金申請・履行報告）

エイコーエナジオ株式会社

本社：大阪府大阪市 再生エネルギー事業の開発、開発支援、発電所運営、O&M

HP：<https://www.energio.jp/>

EPC（設計・調達・建設）

株式会社正興電機製作所

本社：福岡県福岡市 電力・公共・環境エネルギー・情報システム等に関する事業

HP：<https://www.seiko-denki.co.jp/>